

事業名

新物流システム
の構築による
作り立て大麦ダクワーズの
供給体制の構築と売り上げ拡大

株式会社 大麦工房ロア



流通センター

所在地 〒326-0005
栃木県足利市大月町3-1
実施場所〔流通センター〕
〒329-4214
栃木県足利市多田木町148-3
TEL 0284-22-7733
FAX 0284-22-3161
URL: <https://www.oomugi.jp/>
E-mail: info@roa-cake.jp

- 代表者名／浅沼誠司
- 設立年／1986年
- 資本金額／9,800万円
- 従業員数／約300名（パート含む）
- 事業内容／栃木県産大麦を使用した
お菓子・健康食品の製造及び販売

生産管理から製造指示までの「見える化」により、
鮮度感のある大麦ダクワーズの供給体制を実現



自動倉庫（ニチュ在庫管理ロジナビシステム）

鮮度感を求める消費者ニーズに対応するために

当社は足利産の大麦を使用した「大麦ダクワーズ」をはじめ、大麦本来の味を活かしたスイーツの製造・販売を行っています。

通信販売を中心に売上が拡大している大麦ダクワーズの製造ラインは全国的にも突出した規模で、現在は日産平均18万個を製造しています。ダクワーズだけでも50アイテムを超え、さらに栃木県が生産量日本一を誇る「二条大麦」を素材とした姉妹品は100種類以上あり、トータルで200アイテム以上の商品を取り揃えています。

製造された商品はロットごとに管理されていますが、いつでも作り立ての商品を食べたいという消費者ニーズに対し、製造設備と発送設備のつながりと発送能力に限界があり、最適な商品が提供できていませんでした。また、人的なミスも多く、賞味期限切れや発注ミスによる大量在庫など物流システムの渋滞が発生していました。



「大麦ダクワーズ」プレーン（麦こがし）と宇治抹茶



健康的な「大麦生活」を提案

製造と発送の両面から物流システムを見直す

2014年（平成26年）、足利市多田木町に約7億円を投じて流通センターを新設しました。本事業においては、製造設備と発送設備の連結体制を構築し、発送設備の能力を向上させるべく最新の物流システムを導入しています。

- (1) 自動倉庫／ロジスティックナビゲーションシステムにより倉庫スペースの効率化、データベース管理による倉庫管理システムを構築しました。
- (2) ラックフォーク／自動倉庫を可能にするために開発されたフォークリフトで、前・左右方向への荷役が可能のため、収容効率のアップ、作業性の改善が図れました。
- (3) 在庫管理システム（ソフトウェア）／出入庫の情報からホストコンピューターとのオンライン化により、倉庫と生産・流通・商品管理・マーケティングまでトータルに管理できるようになりました。

以上のように在庫を一括管理してトレーサビリティ（製造→消費者）のデータベース管理を一元化することで、作り立て大麦ダクワーズの供給体制が実現しました。



ラックフォーク



在庫管理システム(ソフトウェア)

データベース管理を一元化。理想の供給体制を実現

新システム導入の結果、出入庫管理に要する人的投入時間が大幅に削減されました。また、当社の商品は多品種の詰め合わせギフトが中心のため、1アイテムの欠品は出荷日数の遅れと直結しますが、この欠品がなくなったことが最大の効果でした。さらに、先に触れたように在庫管理システムの一元化により生産管理から製造指示までの「見える化」が進み、納期の短縮が実現しました。

結果として、製造から出荷までの平均日数が18.5日から7日まで短縮することが可能になり、鮮度感を求める消費者ニーズに応えられるようになりました。



箱詰め(ピッキング)の様子



主力商品の詰め合わせギフト

FUTURE ➡

将来の展望

株式会社 大麦工房ロア

専務取締役 上武 裕

当社は栃木県産大麦を使った「大麦ダクワーズ」を主力に、近年は健康や食文化・食育にも着目し、ダイエット・健康食品やフリーズドライ製品（みそ汁、雑炊など）も手がけるようになりました。スイーツだけでなく毎日食べられる大麦をキーワードに、健康面にも配慮した「大麦生活」を提案しています。また、耕作放棄地を活用した大麦の栽培に取り組むなど農業にも力を入れ、日本一の大麦の産地から地元・栃木の大麦を広くPRしていきます。